

日本福祉大学

教育実践研究センター

《第4回オープンカレッジ》

多職種が「学校で仕事をする」ということ

— 教育・福祉・心理がともどもに子どもの生活を読みひらく —

これからの学校や教育機関では、子どもの成長や発達を支え高める専門職の垣根を下げていくことが求められています。そのためには、学校でともに仕事を行う教育・福祉・心理の専門職が、なんでも一人で抱え込むソロアプローチではなく、チームアプローチのマインドをもって取り組んでいく必要があります。

生きづらさを抱える子どもをめぐり、教師とスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーがともに、何と向き合い、何をめざせばよいのかを、このオープンカレッジで考えませんか？

2020年2月29日(土) 13:00~16:00

参加
無料

東海キャンパス S-402教室

〒477-0031
愛知県東海市大田町川南新田229
名鉄「太田川」駅より徒歩5分
※公共交通機関でお越しください。

プログラム

- 13:00 ▶ 開会挨拶 ▶ 意見交換
- 13:05 ▶ 教育実践報告 丹下加代子(東海市適応指導教室) ▶ まとめ
- ▶ 指定討論 杉原里子(スクールソーシャルワーカー) 16:00 ▶ 閉会挨拶
小見山勢津子(スクールカウンセラー)
鎌倉博(名古屋芸術大学准教授)

参加申込

定員:80名

URLもしくはQRコードより申込みフォームにアクセスの上、必要事項をご記入ください。

申込みフォーム

<https://www.n-fukushi.ac.jp/crep/form/200229/>

申込み締切

2月21日(金) 17:00まで

※事前申込みなしでも参加可能ですが、事前準備のためご協力をお願いします。



お問い合わせ

日本福祉大学

履修証明プログラム(学校福祉)

《5月開講予定》

年間60時間程度の講座で、
学校福祉に関する専門性を養うプログラム。
2020年5月からの開講を予定しています。

貧困・虐待・不登校・いじめ・暴力・発達障害をはじめとするさまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するために、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの養成と学校への配置、教師を含めた多職種連携(チーム学校)が進められてきました。とはいえ、子どもたちを支援する専門職者はまだ十分ではありません。そこで日本福祉大学では、子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理にかかわる基礎的かつ実践的な見聞やスキルを身につけてもらうための履修証明プログラム(学校福祉)をスタートさせます。



《履修テーマ》

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 学校福祉を考える | 6 多職種連携をどう進めるか |
| 2 学校改革の現在 | 7 学校福祉援助をどう進めるか |
| 3 子どもを支える法と制度 | 8 教育実践記録を読む・書く |
| 4 学校・医療・心理臨床 | 9 教育実践を他職種が読む |
| 5 子どもとともに生きる人々 | 10 受講者の実践研究報告 |

「履修証明制度」とは？

社会人などを対象とした新しい履修・学習の証明制度です。2007年度の学校教育法改正によって誕生した制度で、大学などが一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、修了者に対して、法に基づく履修証明書(Certificate)を交付する制度です。

本学が指定する科目群を履修することで、特定分野の学習を体系的に行ったことが認証されます。プログラムの修了は、履歴書やジョブカードに記入することができます。

講座の詳細が決まり次第、WEBサイト(右記QRコード)に随時掲載いたします。今しばらくお待ちください。
https://www.netnfu.ne.jp/nfu_certificate/program/2020/gakkou_fukushi/



[日本福祉大学 リカレント教育事業部]

日本福祉大学は、開学翌年の1954年に夜間部を創立し、以来社会人への教育にも力を注いできました。2019年、新たにリカレント教育事業部を開設。本学の実績を活かし、今まで以上に忙しい社会人が働きながらでも学びやすい環境を整備し、多様な学び直しニーズに応えていきます。

<https://www.n-fukushi.ac.jp/recurrent/>



日本福祉大学

問い合わせ・申込先: 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35

TEL.052-242-3069

【受付時間】 平日10:00~17:00(祝日、夏期休業、年末年始を除く)